



## 第6回総会・懇親会 3年ぶりの開催

本来なら2020年に開催予定であった第6回総会・懇親会は、コロナ・パンデミックのため2年続きで延期となっていました。2022年9月10日（土）東京新宿サンパーク本館において3年ぶりに開催されました。コロナ感染者数が減少しつつあるとはいえ収束には至っていないため、感染防止策には万全を期しての開催となった。参加者は、信州からの4名、来賓の榊原雅直先生、長谷川廣子寮母さん、在寮生3名を加えて総勢27名であった。

総会は、正午、深澤克巳副会長の開会宣言・司会進行のもと、林史典会長が議長となって審議が行われ、以下の4議題は全て満場一致で承認された。議題1. 2021年度事業報告、会計報告、監査報告。議題2. 2022年度事業計画、事業予算。議題3. 役員改選・新役員候補の承認。議題4. 総会開催地を東京と信州で隔年交互開催とする件。

### 第7回総会・懇親会は9月9日（土）「メトロポリタン長野」での開催が決定！

議題4については、福與事務局長より「信州での開催を増やすことで、地元舎友の参加を促し各支部を活性化させることにより、寮生を送り込んでくれる地元での口コミ増につなげ、信陽舎の認知度を高めることが期待できる」との趣旨説明があり、来年（2023年）は北信支部での開催となり、具体的には、令和5年（2023年）9月9日（土）正午より長野市内の「メトロポリタン長野」で開催することが長野支部の会合にて決定した。



第6回総会・懇親会出席者記念写真

役職	氏名	舎友No.	入寮年
会長	林 史典	67	1960
副会長	深澤 克巳	115	1963
	浅沼 弘愛	172	1968
	青柳 淳英	280	1978
	池野 兼浩	298	1981
	監事	原 誠	220
	後田健太郎	593	2013
幹事長	伊原江太郎	147	1966
副幹事長	鈴木 昭夫	154	1966
	竹村 治恭	140	1965
	五島 久揮	176	1968
	田尻 実	207	1970
幹事	深澤 勝吉	135	1965
	伊藤 寿彦	162	1967
	井上 潔	173	1968
	久保田信行	174	1968
	吉村 裕至	198	1969
	山口 章裕	222	1971
	福澤 秀志	266	1976
	仁科 圭右	306	1982
	吉村 信二	309	1982
	小林 隆	354	1989
丸山 昂之	613	2016	

### 【舎友会新役員】

役職	氏名	舎友No.	入寮年	役職	氏名	舎友No.	入寮年
顧問	古島 史雄	47	1959	事務局長	福與 卓臣	117	1963
	神波 潔	85	1961	副事務局長	中村 克己	190	1969
	牧内 良平	91	1961		坪木 崇	408	1996
	坂 好章	99	1962		田中 淳一	470	2001
	上松三治彦	108	1963		岩原 優	580	2012
	片桐 勝臣	110	1963	会報編集委員	福田 璋夫	原 誠	
	福田 璋夫	116	1963		福與 卓臣	仁科 圭右	
			深澤 勝吉		田中 淳一		
				五島 久揮	岩原 優		

任期の3年間 宜しくお願いします！



総会の報告事項では、支部活動報告として、池野兼浩南信支部事務局長と田尻実北信支部幹事長より報告があり、中信支部は事務局（福與）が代理で報告を行った。最後に、福與理事長から学生寮の近況及び寮生募集活動の結果報告並びに法人の運営報告があり、12時25分閉会した。

## 懇親会 青春時代にタイムスリップした楽しいひと時

記念集合写真を撮った後、午後12時45分、原 誠監事の司会進行で懇親会が開宴。原監事から、コロナ感染予防のため、飲食中の会話は控えること。会話するときは必ずマスク着用をお願いします、との注意があり、まずは武蔵境寮の物故者65名のご冥福を祈って1分間の黙祷を行った。

伊原幹事長の開会宣言に続き、林会長の会長挨拶、榊原雅直先生の来賓挨拶、牧内良平顧問の乾杯の挨拶と続き、いよいよ3年ぶりの懇親会がスタートした。コロナ感染予防策としてテーブルはアクリル板により仕切り、料理は一人づつ幕の内弁当形式（サラダだけ2人で一皿）とし、飲み物（飲み放題）は各自が冷蔵庫から好きな飲み物をセルフサービスする形式で行った。

最初は、“黙飲食、会話はマスク着用”に不慣れでごこちない雰囲気であったが、すぐにマスク着脱を器用に熟すようになるとは、信陽舎でもまれ身に付けた対応力と柔軟性はさすがと関心した次第です。

13時30分、福與事務局長の指名によって参加者一人一人が自己紹介を行った。普段の懇親会なら各テーブルごとにワイワイガヤガヤで自己紹介の話など聞いている者はごくわずかだが、全員が黙飲食しながら耳を傾けていたのはコロナの効用か。皆さん青春時代の寮生活にタイムスリップしながら楽しかった寮祭のこと、失敗談、冒険談、失恋談等、笑いを誘う話が続出。寮での貴重な経験が、それぞれの人生で大きな財産となったことが想像されるとともに、世代は違えども同じ寮生活の経験を共有できる喜びが参加者の皆さんの笑顔に表れていた。

コロナ感染防止のため、恒例の寮歌や信濃の国の斉唱は省略し、15時25分 池野副会長による閉宴の挨拶の後、中締めとして田尻北信支部幹事長が“来年は信州でお会いしましょう”と呼びかけて、15時30分に解散となった。



受付の山口・吉村・鈴木・中村4氏



林史典会長挨拶



来賓挨拶・榊原雅直先生



乾杯挨拶・牧内良平顧問

### 黙飲食！会話時はマスク着用！のコロナ対策は他人の話をよく聞くという効用をもたらした！



【1卓】 牧内良平・林 史典  
榊原雅直・深澤克巳  
福田璋夫・片桐勝臣



【2卓】 伊原江太郎・原 鎌造  
鈴木昭夫・牧野憲治・伊藤寿彦  
井上 潔・中村克己・田尻 実



【3卓】 寺島裕一郎・原 誠  
山口章裕・池野兼浩・吉村信二  
小林 隆・福與卓臣



【4卓】 長谷川廣子・田中淳一  
後田健太郎・永原拓実  
平出拓也・伊藤拓実

## 北信支部 2023年2月8日 新年会開催

舎友会北信支部は、今年度の第7回舎友会総会・懇親会が長野地区で開催されることになったのを受け、その打合せを兼ねて、北信・東信地区有志による合同新年会を2月8日（水）午後6時より長野駅前のホテル・メトロポリタン長野2階和食「しなの」にて開催した。参加者は、神波 潔（No.85）支部会長、田尻 実（207）幹事長、仁科圭右（306）事務局長、田川洋介（512）、松井一史（622）、竹内亮人（623）、塚田泰史（625）に東京から福與卓臣が加わり計8名であった。

まずは、第7回総会・懇親会を9月9日（土）正午よりホテル・メトロポリタン長野で開催することを確認、詳細については北信支部三役を中心に実行委員会を設置して準備を進め、8月26日（土）に最終準備会合を設けることになった。

第7回総会・懇親会開催の目玉として、著名な尺八奏者である仁科圭右さんのご尊父様をお願いして尺八演奏会を催すことで会を盛り上げようということになった。

新年会は、田尻幹事長の歓迎の挨拶、神波支部会長の挨拶、福與本部事務局長の挨拶、乾杯と続き、3年ぶりの楽しい新年会となった。特に、2年前に卒寮して長野や上田地区に就職した同期の松井君、竹内君、塚田君の3名はお互いに卒寮以来の再会ということで会話が弾んでいた。特に、新聞記者（信濃毎日）の松井君は仕事の合間を縫って駆けつけてくれた。参加者全員の自己紹介などがあり、上は80歳から下は24歳という年齢差も信陽舎という共通のアイデンティティーが一気に埋めてしまったようだ。お開きの後も別れがたく、若い3名と駅近くのワインバーにて二次会となり、時を忘れて旧交を温めた。（福與記）



（後列）竹内亮人・松井一史・塚田泰史・田川洋介  
（前列）田尻 実・福與卓臣・神波 潔・仁科圭右



## ご冥福を！ 羽生玄子寮母さん98歳で旅立たれる

令和4年（2022年）12月29日、武蔵境寮の初代寮母を務められた羽生玄子様が98歳でお亡くなりになりました。年明けの1月8日、姪ごさんから連絡があり、安らかに眠るように旅立たれたとのことでした。葬儀は1月6日に家族葬で執り行われたとのご報告をいただきました。

羽生玄子様は、武蔵境寮が再建された昭和31年（1956年）から昭和37年（1962年）までは寮母さんとして、昭和38年（1963年）から昭和53年（1978年）までは羽生好晴舎監の奥様として22年間の長きにわたり数多の寮生の面倒をみていただきました。子供さんがいなかった羽生玄子様は、昭和53年に郷里の上田に戻られ、ご主人（羽生舎監）に先立たれた後も寮生たちの消息をご自分の子供のように気にかけておられ、寮生の消息が載っている新聞記事などを切り抜き大切にされておりました。「信陽舎の寮生たちは私の子供なの」と仰って信陽舎での寮生との生活を大切な想い出として懐かしんでおられました。羽生玄子様のご冥福を心からお祈り申し上げます！（福與記）

## 合掌！ 羽生玄子元寮母さんの訃報に接して

- 宮川 章義（14）： 羽生元寮母さんの訃報に接し、感慨深い想いに駆られています。ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
- 林 史典（67）： 羽生玄子様、御逝去とのこと、お世話になった頃のことを思い出されて、万感が入み上げます。ご冥福をお祈りしております。
- 嶋岡 洋平（78）： 羽生玄子元寮母様のご逝去の報を有難うございました。ご冥福をお祈りいたします。
- 上松三治彦（108）： 最後にお会いしたのは、三十数年前、1986年の「信陽舎80周年会」の時だったと思います。なんだか体があまりお丈夫ではない印象でしたが、結果長生きされて大往生でしたね。一部の寮生たちより長生きされて御立派でした。ご冥福をお祈りいたします。僕らも頑張って長生きするように心がけましょう。
- 池神 利勝（109）： 羽生寮母さんご逝去の報に接し、懐かしい思い出がよみがえってきます。ご冥福をお祈りします。
- 片桐 勝臣（110）： 羽生玄子様ご逝去のご連絡ありがとうございます。私たちの信陽舎生活でも一方ならぬお世話になった寮母さんのご逝去は寂しい限りですが、長寿を全うされ安らかに旅立たれた由、心からご冥福をお祈り申し上げます。
- 福田 璋夫（116）： 羽生玄子様には大変お世話になりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。寮母様の納骨先ですがご存知でしょうか。随分昔ですが、羽生舎監が亡くなられた折、小平霊園で執り行われた納骨式に当時の役員等と参列いたしました。その後、犬（先々代の犬）の散歩で霊園に出かけた折、何回かお参りさせていただきました。もし、寮母様のご遺骨も小平霊園の舎監様と同じ墓所に納骨されるのであれば、お参りさせていただきたいと思っております。ご存知でしたらお知らせください。この頃、恩師、友人、親戚が鬼籍に入るようになりました。いずれはそうなりますが、もう少しこちらで頑張りたいと思っています。
- 牧野 憲治（157）： ご連絡有難うございます。舎監さんと共に、我々寮生を見守っていただいたこと、誠にありがたく、懐かしさとともに感謝の言葉もありません。ただ、当時は病勝ちで決して健康体とは思えなかつただけに、98歳の長寿を保たれたことは、健康管理に余程の注意を払われたのでしょうか。心よりご冥福をお祈り申し上げます。
- 金田 憲治（164）： 羽生玄子様のご逝去のお知らせに接し、懐かしき時代の一ページが閉じられたような気がします。非常に誇り高き存在でありました。ご冥福をお祈り申し上げます。
- 浅沼 弘愛（172）： ご連絡有難うございました。あの頃の信陽舎がまた遠くなります。羽生寮母さんのご冥福をお祈りします。
- 杉本 研一（254）： ご丁重に、羽生寮母様ご逝去のお知らせを頂き、誠にありがとうございます。福與様からの連絡メールと前後して、羽生寮母様宛の年賀状が返送されてきました。寮の建物が建て替えになり、羽生舎監様が亡くなり、今回、寮母様まで後を追われ、信陽舎における昭和の歴史が完全に終わったことを実感いたしました。20数年前、寮母様が諏訪市に旅行された折にご連絡いただいて、宿泊先ホテルのロビーで久しぶりに再会し、時間を忘れて懐かしい昔話をすることがありました。その時に、改めて美人の人は歳を重ねても美人なんだと実感しました。品の良い優しい眼差しは、今でも鮮明に覚えております。福與様のメールに記されているとおりです。「我々寮生たちを我が子のように温かく見守ってくださった羽生寮母さんの魂は、きっと天空の星となられ、私たちの頭上で奕々と輝き続け、信陽舎の子どもたちを照らし続けてくれることと思います」合掌！
- 岩原 伸（290）： 私は直接羽生さんご夫妻がいらした頃には在寮していませんでしたが、寮祭の折などにご尊顔を拝しておりました。ご夫妻の伝説だけはよく伺っておりました。信陽舎は、やはり東京の家族みたいなものですね。ご冥福をお祈りいたします。

## 転居通知

転居先住所は、個人情報保護のため表示を差し控えさせていただきます。連絡等で詳細をお知りになりたい方は、お手数ですが事務局までお問合せ下さい。

- 古畑 大輔（458）： いつもお世話になり有難うございます。住所変更をお伝えするのが遅くなり申し訳ありませんでした。新しい住所は松本市大手です。なお、メールアドレスも変更しましたので宜しくお願いいたします。
- 森田 圭洋（598）： ご無沙汰しております、森田です。この度住所が神奈川県三浦市に変わりましたので宜しくお願いいたします。
- 竹内 亮人（623）： 2022年9月にNTTデータ信越(株)に転職し、現在は長野市に移り住んでおりますので宜しくお願いします。
- 権田敬太郎（627）： 昨年9月に東京都西東京市に転居いたしました。新しい環境にもようやく慣れてきて元気に過ごしております。

**訃報**  
ご冥福を！  
物故者 68名  
(武蔵境寮以降)

- ✿ **原田 守啓** (舎友No.18 在寮期間1957～1961) さん 令和4年10月16日ご逝去。  
令和4年10月24日に舎友の古川善博 (No.169) さんよりご一報いただきました。原田守啓さんは平成9年～令和元年の22年間、信陽舎の理事、評議員として寮の運営にご尽力いただきました。原田さんは舎友会報第11号で既報のとおり画家としても活躍され、今年の4月に第5回の個展を開かれ、画集も出版されました。心からご冥福をお祈りいたします。
- ✿ **大島 義彦** (舎友No.27 在寮期間1959～1960) さん 平成15年4月ご逝去。  
古島史雄 (No.47) さんより、飯田高校同窓会報に掲載されていたとの連絡いただいた。
- ✿ **川上 彰** (舎友No.30 在寮期間1959～1960) さん 令和4年4月ご逝去。  
令和4年9月22日、奥様 (山梨県北杜市) より、「会報『武蔵野』第11号を受け取りましたが、本人は今年の4月に他界いたしました。皆様には生前大変お世話になり有難うございました」とのご連絡を頂きました。
- ✿ **宮島 直司** (舎友No.50 在寮期間1959～1963) さん 令和3年12月21日ご逝去。  
古島史雄様より飯田高校同窓会報の訃報欄に掲載されていたとのご連絡をいただいた。
- ✿ **中山 卓** (舎友No.103 在寮期間1962～1966) さん 令和4年6月20日79歳にてご逝去。  
舎友の小池章 (No.76) さん及び竹村治恭 (No.140) さんより一報があり、年末には奥様・自子様から、「生前に皆様から賜りましたご厚情に対し個人になり代わり深くお礼申し上げます」とのご挨拶をいただいた。中山 卓さんは、舎友会中信支部の会長としての活動や、法人の入寮面接選考委員として松本会場での面接などにもご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

《 会報第11号の原稿締め切り以降の便り等 》

- 平澤 正通 (11) : 残暑御見舞申し上げます いつまでたってもコロナの勢いがおさまらないのは全く困ったものです。ところで、信陽舎OB会の件ですが、久しぶりのことで出席したい、先日は出席の返事を差し上げましたが、その折に諸般の事情如何で出席できない可能性があると思いましたが、現状やはり出席は無理と判断しました。大変勝手に申し訳ありませんが欠席に変更いたしたく宜しくお願いします。会のご盛会をお祈りします。以上、取り急ぎご報告まで。
- 宮川 章義 (14) : 清秋の候 貴殿にはお変わりなくお過ごしの由嬉しく存じます。また、信陽舎の運営にご尽力下さり誠に有難く感謝致します。過日の舎友会 (第6回舎友会総会) は出席の予定でしたが、私の不注意で欠席してしまいご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。翌週9月17日 (土) に会場に向いたのですが、10日 (土) に実施済みとのこと、自分自身の日常生活を反省いたしました。信陽舎の運営も厳しい状況にあると思いますが、出来ることは協力して参りたいと思っていますので今後とも宜しくお願い致します。
- 加納 忠夫 (54) : 総会は欠席いたします。総会の盛会を期待しています。
- 北原東亜夫 (55) : 田舎 (下伊那郡松川町) から東京の自宅に戻って会報11号を拝見し、懐かしく思い電話しました。最近では田舎暮らしの方が長く時々東京の自宅に戻ってくる日々です。田舎ではのんびり“晴耕雨読”の生活を送っています。上京の折は一杯やりましょう！
- 関島 昌信 (64) : 昭和35年4月入寮させて頂きました。今振り返りますと小生にとりまして人生第2のスタートでございました。あれから62年余り今も鮮明に寮生活のことを思い出します。出席できず残念ですが総会の盛会を願っています。
- 深澤 勝吉 (135) : 毎回の欠席で申し訳ありません。義母の介護を交代でしています。皆様に宜しくお伝えください。
- 鈴木 昭夫 (154) : 原田守啓 (舎友No.18) さんが亡くなられたとのこと、次の個展には是非行きたいと思っていたところですので大変残念です。信陽舎100周年記念時の「信陽舎100年のあゆみ」を引っ張り出してきて、表紙の原田さんの“伊那谷と安曇野”の絵をあらためて見させて頂きました。優しいタッチの中に、山が迫ってくるような迫力を感じ、信州の自然や山を大変大切に思っていたことと思われまふ。
- 関口 直哉 (389) : 難病で寝たきりの生活を送っています。

2022年末 喪中便り

- 北原東亜夫 (55) : 本年一月九日 母佐保が104歳にて天寿を全ういたしました。生前に賜りましたご厚情に深謝いたすと共に皆様が良い年をお迎えなさることを心よりお祈り申し上げます。なかなかコロナが収まらず、再会できず残念です。
- 牧内 良平 (91) : 義兄の古田昌が九月、92歳で永眠いたしました。本年中に賜りましたご厚情に感謝し、明年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願いいたします。皆様には健やかな新年を迎えられますよう心から祈念いたします。
- 中山 自子《中山 卓 (103) 奥様》: 6月20日に、夫 中山 卓が 79歳 にて永眠いたしました。生前に皆様から賜りましたひとかたならぬご厚情に対し、故人になり代わり深くお礼を申し上げます。
- 五嶋 昭 (112) : 兄が九月に永眠いたしました。本年中に賜りましたご厚情を深謝いたします。
- 田尻 実 (207) : 十二月九日に実姉 小泉文子が75歳にて永眠いたしました。生前に賜りましたご厚情に深謝いたしますと共に皆様のご多幸をお祈り申し上げます。
- 岩原 伸 (290) : 昨年九月二十二日、靖子の母悦子が 88歳で永眠し、年頭のご挨拶を控えさせていただきました。欠礼のお知らせが行き届かず失礼いたしました。皆様のご健勝をお祈りいたします。向寒のみぎりご自愛ください。



法隆寺・夢違観音像

## 2023年 年賀状便り

長谷川廣子（M2）：新春のお慶びを申し上げます 新しい年が素晴らしい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

榑原 雅直（S3）：あけましておめでとうございます 2023 旧年中は公私にわたり大変お世話になりました。本年も宜しくお願い致します。

宮川 章義（14）：初春のお慶びを申し上げます お変わりありませんか、信陽舎を宜しくお願いします。

高間 成之（38）：2023年のごあいさつ：血糖値・血圧に効果があるとスクワットを始めて半年、ワンセット15回を日に5セット実行しています。年賀のあいさつ ぼつぼつ仕舞いたいと考えております。

古島 史雄（47）：恭賀新年 今年もよろしくお祈りします。再会を期し、コロナ退散を念じるのみです。

久保田光昭（58）：謹賀新年 幸せな一年でありますようお祈りいたします。本年もよろしくお祈り申し上げます。

浜 国昭（65）：謹んで新春のお慶びを申し上げます 私事で恐縮ですが、高齢のため筆をとるのが難しくなってきました。本年を最後に年賀状のご挨拶を締め括りとさせていただきます。今後はメール、ラインにてご連絡させていただきます。これまでの皆様方のご厚誼に深く感謝申し上げますと共に一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

ご無沙汰しておりますがお元気ですか。私は金婚式を前に黄泉の国に旅立った愛妻を偲んでいます。

林 史典（67）：新春のおよろこびを申し上げます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。ご多忙を極められた一年でしたね。

どうか御身お大切に！ よい一年になりますように！

小池 章（76）：謹賀新年 新しい年が素晴らしい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

今年もよろしくお祈りいたします。

嶋岡 洋平（78）：謹賀新年 旧年中はいろいろとお世話になりました。本年もよろしくお祈りいたします。なお、みいつ（奥様）は現在福祉施設にお世話になり、無事にすごしております。（私は）独りの生活で頑張っております。

北原 靖久（81）：あけましておめでとうございます 幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。近くに住みながらご無沙汰いたします。本年をもって賀状は失礼いたします。

神波 潔（85）：謹賀新年《長崎・大浦天主堂にて》長野での舎友会総会 ご指導お願いします。

中田 篤（96）：初春のおよろこびを申し上げます 新年を迎え皆様のご多幸とご健康をこころよりお祈り申し上げます。

坂 好章（99）：迎春 新しい年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。お元気のこと存じます。私も一応元気ですが、医者と薬の厄介を受けております。

中田 茂（102）：明けましておめでとうございます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

上松三治彦（108）：新年快樂 池袋（豊島区）に移る（引っ越し）のは今年中の予定ですが、正式の住所はずっと豊島区です。大事な書類は全部あそこに来ます。今（杉並区）は信陽舎まで30分だけ、池袋からでも1時間位です。最近電車に乗ってなくて、電車の切符はコーヒー代払う時にしか使っていません。

池神 利勝（109）：謹賀新年 新年を迎え皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は大変ご迷惑をおかけしました。幸多き一年となりますように。

片桐 勝臣（110）：謹賀新年 皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。長引くコロナ禍、ウクライナでのロシアの横暴、今年こそ早い機会に終息してほしいものです。ご活躍を祈ります。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

小平 国俊（113）：迎春 2023 またお会いしたいですね！

深澤 克巳（115）：賀正 昨年は大変お世話になりました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今年もしよろしくお祈りします。

福田 璋夫（116）：あけましておめでとうございます 自粛生活も我慢の三年、変化を求めて昨年、保護犬（犬種パピヨン推定6,7歳）をパートナーに迎えました。想像を超えた愛くるしさに癒されています。犬中心の生活になってしまいました。

木版画は、竹田城址2景《茜雲》、《薄雪》、今回も同じ版木で摺り色を変え二景を表現しました。

福與 卓臣（117）：謹賀新年 自然は生命のゆりかご、美しい故郷の自然を、直し方の分からない自然を破壊から守り、美しいままに未来世代へ引き渡そう。今年も信陽舎をよろしくお祈りいたします。

土屋 雅敬（129）：謹賀新年 佳き年を迎え皆様のご健勝をお慶び申し上げます。コロナ禍の早期終息、インフレの収束、そして平和を祈念いたします。お身体をくれぐれもご自愛ください。

竹村 治恭（140）：頌春 本年もよろしくお祈り申し上げます。今年は是非お逢いしたいと思っております。

原 鍊造（144）：謹賀新年 新春を迎え、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年九月の総会ではお世話様になりました。次回会える日を楽しみにしております。

平沢 忠明（145）：迎春 幸せな一年でありますようお祈りいたします。本年もよろしくお祈り申し上げます。ご活躍をお祈りいたします。



伊那谷遠望



竹田城址2景 (福田璋夫)



伊原江太郎（147）： 謹賀新年 数えて104歳を迎える母に、東西諸国百年の歴史記録映画を贈呈。世の事実の推移を凝視する姿に、改めて事実を歪めれば、やがて世は破局を迎えるとは今昔普遍、不実の溢れる世相が漂う先に幸あれ。日本の将来がかすんで見えません。

葛岡 龍夫（151）： 謹んで初春のおよごびを申し上げます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

鈴木 昭夫（154）： 謹賀新年 謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

仲田 哲夫（155）： 謹賀新年 信陽舎の集まりに参加できなくて残念です。お元気で活躍下さい。本年もよろしくお願いいたします。

牧野 憲治（157）： 恭賀新年 お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。「運営報告」を拝見させていただいて居ります。ご努力には只々、感服の一言です。ご体調にご留意され、今後益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

松山 順治（158）： 謹賀新年 昨年もコロナ禍で行動が制限されるなかワクチンを接種し、気をつけながら道内の旅行やアウトドアスポーツを楽しみました。特に登山は低山ばかりですが、函館大沼国定公園の駒ヶ岳をはじめ7座を初登頂でき良かったです。NOP法人札幌シニアネットの活動で筋トレを続けながら、おかげさまで妻と子ども元気に暮らしております。信陽舎の運営、いつもありがとうございます。《写真右は駒ヶ岳、左はマクンバツ湿原に咲く新種のハゴロモ水芭蕉（花の中に花卉がある）です》

伊藤 寿彦（162）： 賀正 賀状をありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

金田 憲治（164）： 新年あけましておめでとうございます 昨年11月、上京の折 牧野君と会いました。今年は上京の機会が増えそうなので是非お会いしたいと考えています。ご多幸をお祈り申し上げます。

櫻井 康夫（166）： 賀正 昨年3月ですべての職を辞し、何もない自由な日々を迎えました。ウォーキングとゴルフは継続していますが、世の中も活動を始めたので、ようやく近場の旅に出ました。ワクチン接種証明を持ち、万全の態勢を整えての行動です。まだまだ変異するコロナに振り回されていますが、今年こそ平穩無事な一年になることをお祈りいたします。くれぐれもお身体にはご留意ください。

浅沼 弘愛（172）： HAPPY NEW YEAR May 2023 be happy & fruitful！いろいろお世話様です。本年もよろしくお願い申し上げます。

五島 久揮（176）： 謹んで新年のお慶びを申し上げます 本年もどうぞよろしくお願いいたします。今年こそ本当に色々な面（コロナ・ウクライナ・政治経済）で明るい年になってもらいたいです。

深津 徹（184）： 謹賀新年 今年も素晴らしい一年でありますよう心からお祈り申し上げます。

中村 克己（191）： 謹んで新年のお慶びを申し上げます 皆様お揃いで良い新年を迎えられた事と思います。昨年はコロナの広がりロシアのウクライナ侵攻という暗いニュースで始まった年になりました。今年は平和で明るい年になることを祈ります。後期高齢者目前となり、体力の低下を感じています。昨年からの定期的な病院通いの合間に、筋力維持の運動とボケ防止のサークル活動を継続しています。舎友会ではお世話になりますが宜しくお願いします。

寺島裕一郎（217）： 謹賀新年 新年あけましておめでとうございます。本年もみなさまにとって幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

原 誠（220）： 頌春 皆さまにとって良いお年でありますように。本年もよろしくお願い致します。

山口 章裕（222）： 謹んで初春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

杉本 研一（254）： 謹賀新年 新春を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。任期満了で昨秋仕事をリタイアしました。今は人間ドックで指摘されたところを一つ一つケアしているところです。本年もよろしくお願いいたします。

田中 誠一（262）： 謹賀新年 皆様方の健康とお幸せをこころからお祈り申し上げます。たしかに、自然を破壊から守ること、食糧を確保することは、これからの人類の大きな課題ですね。今年、信陽舎にお世話になる生徒が出てくるかも知れません。その時には、どうかよろしくお願いいたします。

田村 裕昭（264）： ほっこりあったか 幸せな一年でありますように うさぎどし 今年もどうぞよろしくお願いいたします。

福澤 秀志（266）： 謹賀新年 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。お誘い（役員就任の）を頂きながら、お受けできず申し訳ありません。

青柳 淳英（280）： 謹賀新年 大変ご無沙汰しております。お元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。ここ3年ほど仕事もコロナ禍の影響を受けましたが、昨年秋口あたりから徐々に回復の兆しが見えてきました。本年はインバウンドの復活も期待され上向きの流れに乗って巻き返しを図って行きたいと存じます。いつもご連絡を有難うございます。

池野 兼浩（298）： 謹んで新春のお慶びを申し上げます 私儀 昨年三月をもって飯田市役所を定年退職いたしました。長年にわたるご指導ご鞭撻をありがとうございました。小生の経験の中で何かお役に立てることがございましたらお申し付けください。今後ともよろしくお願い致します。

高野 雅彦（302）： あけましておめでとうございます 皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。なお、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



尾瀬・暁の大江温泉



晩秋の杖突峠

仁科 圭右 (306) : 謹賀新年 今年もよろしく願ひいたします。

吉村 信二 (309) : 謹賀新年 あなたの笑顔 かがやく年になりますように。皆様には輝かしい新年を迎え、益々のご多幸を心よりお祈り申し上げます。どんなお役(評議員として)に立てるかわかりませんが、今年もよろしく願ひいたします。

小林 隆 (354) : 謹賀新年 旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしく願ひいたします。

瀧澤 如 (390) : あけましておめでとうございます 寒い日が続きますので、体調に気をつけてお過ごしください。

坪木 崇 (408) : HAPPY NEW YEAR 2023 本年もよろしく願ひ申し上げます。

田中 淳一 (470) : 謹賀新年 旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしく願ひします。

下岡 祥平 (524) : 謹賀新年 うんき上昇 福さずかり えんぎの良い 最高の年に  
なりますように。引き続きご指導をお願いします。

大石 晃也 (608) : 寒中お見舞い申し上げます ご無沙汰しております。長い間ご連絡もできず申し訳ありませんでした。今年はタイミングがあれば、武蔵境にお伺いしたいです。お身体に気を付けてお過ごし下さい。

両角 旺大 (610) : 謹んで初春のごあいさつを申し上げます 仕事は今年の4月で3年になります。大変なこともあります、やりがいも感じながら  
続けています。またお会いできるのを楽しみにしております。

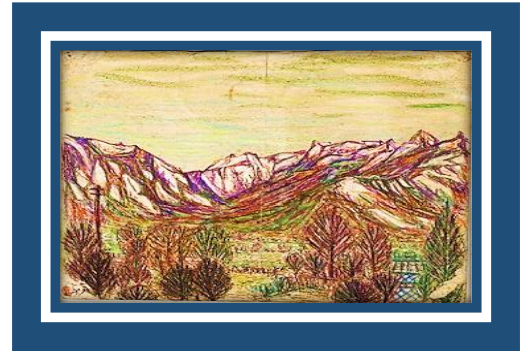
宮崎 健太 (615) : あけましておめでとうございます 福與さん、ご無沙汰しております。おかげさまで昨春就職させていただき、充実した日々を送ることができています。どうかお身体に気を付けて、本年もご活躍なさってください。またご挨拶できることを楽しみにしております。本年も  
どうぞよろしく願ひ申し上げます。

竹内 亮人 (623) : Happy New Year 2023 新しい年が素敵な1年でありますように！  
2022年9月にNTTデータ信越(株)に転職し、現在は長野(長野市)に住んでおります。  
今後のお知らせなどは以下の住所によろしく願ひします。寒い日が続きますので、風邪  
をはじめウィルスにはくれぐれもお気をつけください。

塚田 泰史 (625) : Happy New Year 今年もよろしく願ひします。おげんきですか。ご無沙汰  
しております。私はコロナにもならず何とかやっています。お身体に気を付けてください。

権田敬太郎 (627) : あけましておめでとうございます 私は変わらず元気に過ごしております。ご報告が  
遅くなりましたが、昨年9月西東京市に転居致しました。引っ越しの荷物も片付き、新しい  
環境にもようやく慣れてきました。今年もどうぞよろしく願ひいたします。

坂口 大成 (636) : あけましておめでとうございます 新年の挨拶が遅れて申し訳ありません。仕事は覚える  
ことが多く、がむしゃらに進む日々です。少しでも活躍できるよう努力して参ります。福與さんもお身体に気を付けて良い一年をお過ごし  
ください。



晩秋の安曇野



佐久・旧中込学校

## 寮生保護者からの年賀状便り

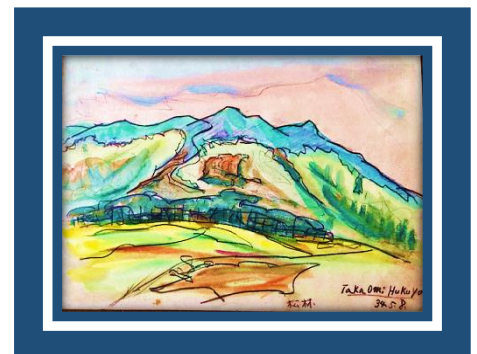
土本 涼也 (641) 君の保護者(俊和・希絵) : Happy New Year 2023 本年もどうぞよろしく願ひいたします。涼也が大変お世話になっ  
ております。お身体を大切にお過ごし下さい。

佐藤 大地 (661) 君の保護者(勉) : 新春のお慶びを申し上げます 旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。本年もどうぞよろ  
しく願ひ申し上げます。いつも大地がありがとうございます。

小山 ういる (662) 君の保護者(聖子) : Happy New Year ! 2023 May this be a happy and fruitful year ういるがお世話になっ  
ております。今年もよろしく願ひいたします。

永原 拓実 (665) 君の保護者(幸一・昭子) : 迎春 大変お世話になっております。  
拓実も信陽舎を拠点とさせていただき、有意義な学生生活を送っています。  
今年もどうぞよろしく願ひいたします。

児玉 光輝 (666) 君の保護者(隆雄・弥生) : 謹んで新年のお慶びを申し上げます  
いつも光輝が大変お世話になっております。昨年、エアコンの件でご迷惑  
をおかけしましたが、快適に過ごせるようご配慮いただきましてとても感謝して  
おります。長谷川寮母様には休日もご馳走していただく事があるようで申し  
訳なく思います。理事長様、副理事長様、長谷川寮母様、今後も息子  
のご指導をお願いいたします。



布引観音より湯の丸・高峰山塊を望む



## 「雨男」の仕業か？ 清川村は今日も雨だった！

第4回舎友会親睦ゴルフ会3回連続中止の顛末記

浅沼弘愛(舎友No.172)

何という偶然だろうか！ 3年間を通し今日で3回目だ。2022年10月6日は、大先輩の牧内良平(舎友No.91)さんをはじめ深澤克巳(115)、福與卓臣(117)さんなど舎友会有志と長野高校15回生(福與さんの同期生)の合同ゴルフコンペの清川カントリーでの開催日であった。

コロナ禍が続き、長いことプレーの機会がないため素振りやバットの練習で埋め合わせていたので久しぶりのゴルフに人知れず楽しみにしていた。数日前までは夏日で半袖で過ごせる気候なので心配はしていなかったが、その後は雨で冬日になると予報が変わった。はたして、当日朝4時時点の天気は小雨だったが支度をして予定通り最寄り駅に向かった。

ところで3年前、私にとっては2回目だが、1回目が雨で仕切り直しの日であった。メンバーは、今回とほぼ同じ顔触れで福與さん、深澤さん、池神利勝(109)さん。2019年5月14日のことだ。この日も楽しみに清川カントリーに向かった。到着するや否や激しい雨のうえ、スタート直前に雷鳴が轟いて、ゴルフ場の要請でプレーは不可とされたのだ。今朝出かける時は小雨だったから、まさか予報が的中して大雨と寒さで中止になるとは思いたくなかった。しかしまたもやゴルフ場まで来てからの中止である。そのまま引き返すのは残念だが目の前の大粒の激しい雨と12月並みの気温(12℃)で納得した。今回で中止は連続3回目だ。しかもほぼ同じメンバーで同じゴルフ場だ！ こんなにも偶然が重なるものだろうか？ 前回の時も同伴競技者から「雨男」じゃないかと深い疑いをかけられてきた自分であるが、今日もそんな揶揄を遮りつつも、他では貼られたことのないレッテルをまたも貼られてしまった。しかし現実を変えられない。できれば晴天の中、レッテルを気にすることなく素振りの成果を披露したかったのだが。後で調べてみたら、1回目は2019年4月10日で、早朝ゴルフ場に向かう前に雨のため中止すると連絡があり、キャディーバッグは開けられないまま返送された。その時のメンバーは、牧内さん、福與さん、深澤さん、池神さん、片桐勝臣(110)さんと記録されていたのだ。

それから約1時間後に本厚木駅行きのクラブバスに乗車した。バスの座席で、駅周辺で朝から営業している飲める店を片っ端から検索した。殆んどが11時からだが、ただ一店ファミレスの「ガスト」は朝7時からビールを提供しており、10時半からはワインを飲めることが分かった。前回の時も一緒にご臨席を賜った福與さん、深澤さんに検索結果を伝えたとこ、二つ返事で直行となった。

3年前は、駅前ビルの「サイゼリア」で11時開店のところ少々無理を言って入店、酒席を陣取り、ビールやワインを堪能し談笑していたところ、騒がしいと言われそれ以上の滞在を断念することとなった。気が付いたらワインボトルが2本空いていた。周りの客は迷惑したに違いない。今回は前例を教訓に、店の片隅で静かに陣取り、人知れず雨にリベンジしつつ、芸術の話や舎友会報の話など普段とは違った高尚な話に終始し、痛快に懇親を深めた。ただ、中止になったお陰で、普段はなかなかできない即席の懇親会が2回もできた。高年齢期の後半に差し掛かった今、信陽舎や舎友のことを思い出す絶好の機会となった。

いかなるイベントでも雨天中止は付き物であるが、ゴルフ場まで行って中止になるケースはそうない経験だ。だが、その都度懇親をなしたるは、それほど悪くはない。



0番ホールで乾杯の浅沼、福與、深澤

## 4度目の正直！ ～ついに念願叶った第4回親睦ゴルフ会～

2022年12月14日、浅沼弘愛さんにとっては4回目にして、ついに念願がかない快晴の青空の下で清川カントリークラブでプレーができたのだ！



快晴の下、大山をバックにチーズ

2019年4月10日、5月14日、2022年10月6日と3回も荒天のためプレーができずにいた雨男の浅沼さんの執念に遂に神様も音を上げたようで朝から快晴の青空となった。

意気揚々とグリーンに飛び出していった牧内良平さん、深澤克巳さん、浅沼さん、福與の後期高齢者4名だったが、高速グリーンに手を焼き、スコアそっちのけで珍プレー続出。

19番ホールは、本厚木駅前の中華屋「慶福楼」にて珍珠蠣の鉄板焼きを肴に紹興酒で楽しい打ち上げとあいなった。スコアは載せるなよ！との牧内先輩のお告げに従い省略です。



浅沼・深澤・牧内・福與

## 【信州の明珠財宝 ⑩】 国重要有形民俗文化財 黒田人形舞台 (飯田市上郷黒田)



天保11(1840)年建築の人形浄瑠璃専用の舞台。間口8間、奥行4間、総二階建ての瓦葺出桁造りで、国指定重要有形民俗文化財となっている。飯田市上郷黒田の下黒田諏訪神社境内にあり、その古さや規模の大きさなど本格的な人形舞台である。



## 底なしの酒豪寮生たちと慰労バーベキュー



9月17日（土）午後、舎友会報「武蔵野」第11号の発送作業を手伝ってくれた土本涼也君（4年）、中村翼君（3年）、伊藤拓実君（3年）、平出拓也君（1年）、永原拓実君（1年）の5名の寮生たちのために長谷川寮母さんが慰労のバーベキューを用意してくれた。

偶然か？あるいは長谷川寮母さんの意図なのか？分からないが、この5名はそろいもそろって信陽舎きっての酒豪ばかりだ。特に第6回舎友会総会に参加した伊藤君、平出君、永原君の新入寮生トリオは、酒に関しては底なしのツワモノだ。早速、このトリオは、スーパー「いなげや」で“大吟醸・越後桜”の一升瓶を仕入れてきて、北海道直送のイカ焼き、チーズ焼き、豚の生姜焼き、枝豆、焼きそば等を肴に2階のテラスで楽しい慰労会となった。屋外で、とっておきの寮生たちと酌み交わす酒のなんと美味しいことか！60年前の青春時代に戻ったような懐かしい至極のひと時を味わった。（福與記）



## フットサルで心地よい汗を流す寮生たち ～秋のスポーツ大会～

10月23日（日）の正午、都合で欠席の風間大輝君を除く21名の寮生と福與の22名が田無駅前アスタビル屋上のフットサル場に集合した。

秋晴れの青空で絶好のスポーツ日和の下、幹事の中村翼前寮長と太田悠副寮長の提案で各チーム7名の3チームに分かれて試合時間10分のリーグ戦を2回行った。

戦前の予想では、強い順にAチーム、Bチーム、Cチームと見られていたのだが、戦績は真逆の結果となった。なんと優勝はハットトリックなどで合計6得点を挙げた小山ういる君の大活躍でCチームが優勝、2位がBチーム、高校でフットサル部主将を務めたエースの太田悠君を擁しダントツで優勝候補と目されていたAチームは最下位に沈んだ。

近年のサッカー人気を反映してか、華麗なドリブルを披露する者、強烈なシュートを放つ者など、普段の寮生活では見られない意外な一面を見せてくれ見ごたえのある試合を披露してくれた。コロナ禍による自粛生活で体を動かす機会が少なかったためか、嬉々としてボールを追いかける寮生達の姿がとても新鮮に映った。

ゲーム終了後、田無から三々五々徒歩で寮に戻り、全員シャワーで汗を流してから懇親会の準備に取り掛かった。既に長谷川寮母さんが、豚汁、鶏のから揚げをはじめ様々な料理を用意していただき、寮生達は夕焼きを焼いて準備完了、各チーム毎にテーブルに着き懇親会が始まった。

幹事の中村翼前寮長と藤原改新寮長から成績発表と個人賞が発表された。長谷川寮母さんが優勝チーム全員に豪華なケーキを提供してくれた。また個人賞は優勝チーム以外から選出し、再三見事なヘディングを披露し守備に貢献した北沢陽紀君に“最高殊勲選手（MVP）賞”が、滝澤和士君には“あまり目立たなかつたで賞”が、そして強烈なロングシュート（全てゴールは外れた）を何発も放った市澤文太君に“豪打賞”が送られた。賞品はいずれも長谷川寮母さん提供の豪華ケーキであった。秋の一日、ほぼ全員が集い一緒に汗を流したことは大きな意義がある。みんなの笑顔には心を開いて打ち解け合えた喜びが現れていた。

楽しい懇親会がひと段落した後、一升瓶を囲んで談笑する者、特別に許可したテレビでゲームを楽しむ者、麻雀卓を囲み長谷川寮母さんも交えてマージャンに興じる者など、秋の夜長の楽しいひと時が続いていた。久しぶりにマージャンにつき合い、午後8時過ぎ寮を後にしたが、痛めた足を気遣ってバス停近くまで送ってくれた寮生たちの優しさ心打たれながら帰途に就いた。（福與記）





令和4年度寮祭 ～多芸な演技で楽しませてくれた寮生たち～



今年の寮祭もコロナ感染が再拡大しているため、最小限の人数で行うことにし、学習院大野球部で当日は遠征試合で先発で投げるという永原拓実君を除く寮生21名に長谷川寮母さん、理事5名（深澤常務理事、伊原副理事長、池野理事、後田監事、福與）、そして特別参加として来年6月に役員就任予定の若い舎友・松澤直紀（舎友No.596）さんを加えた総勢28名での開催となった。

朝から食堂の大掃除やテーブル配置設営、買い出し、五平餅の餅・味噌作りなどの班に分けて準備を進めていた。雨も上がったので午後2時半、2階テラスで焼き始めたところに、シルバー清掃員の高橋さんが普段お世話になっているからと、手作りの美味しい大学芋を沢山差し入れてくれた。

午後5時半ころには五平餅も焼き上がり、会場の食事の配膳なども終わり、参加理事たちも集まってきた。

定刻の午後6時、参加者全員が席につき、三役（藤原寮長、太田・小山両副寮長）の司会進行で令和4年度の寮祭が始まった。

まずは藤原寮長が、「今日の寮祭に当たっては理事の方々から飲み物をいただき有難うございました。また清掃員の高橋さんからは美味しい大学芋を頂戴したので、お会いた時にはお礼を言って下さい。また、皆さんの前の美味しそうな沢山の料理を準備してくださった長谷川寮母さんに心から感謝申し上げます」と開会の挨拶を述べた後、理事長の挨拶、深澤常務理事による乾杯の挨拶があり、長谷川寮母さんの心のこもった美味しい料理いただきながら楽しい団欒が始まった。

宴の途中、伊原副理事長、池野理事、後田監事、舎友の松澤直紀さんの順に挨拶があったが、特に卒寮してまだ4年目の若い先輩舎友である後田健太郎さんと松澤直紀さんの寮生活の思い出話には身近に感じるのか寮生たちは真剣に聞き入っていた。

恒例の宴会芸では1年生の松崎優多君と穂川輝多君が真っ赤なサンタクロース姿で登場し、クリスマスソングにあわせて踊り始めると、小倉稔君がトナカイ（狐？）の縫いぐるみ帽を被り音楽に合わせて耳を動かしたりリズムを取り始めるとその滑稽さに会場は爆笑に沸き、とくに長谷川寮母さんは笑い転がっていた。次に音楽専攻の藤原寮長が登場しピアノと歌で名曲を披露すると、その名演奏と美声に会場はコンサート会場と化した。

春の新入寮生歓迎会の時から芸を披露するのは1年生ばかりで、上級生のメンツが立たないと危機感を募らせた4年生の土本涼也君と3年生の中村翼君が名誉挽回とばかりに即席の掛け合い漫才を披露。理事長や副理事長、現寮生たちを笑いのネタに取り入れたユーモアあふれる漫才は参加者に大受けで、さすがに上級生、だてに年は取っていないなと感心した次第。続いて藤原寮長が再登場し、参加者のリクエスト曲をピアノの弾き語りで披露した。最後に恒例の五味零弥君が登場、即興で創作したヒップホップダンスを披露して会場を盛り上げてくれた。

午後8時20分、参加者全員で寮歌と信濃の国を斉唱し、記念写真を撮って午後8時30分、楽しい寮祭は閉宴となった。帰宅のときには多くの寮生が玄関まで見送りに出てくれ、土本君、中村君、太田君などは団地中央バス停までついてきて名残惜しいのかバスが動き出しても走りながら手を振って見送ってくれた。（運営記録より）



藤原君のピアノと歌の演奏



土本君と中村君の漫才



五味君のヒップホップダンス



参加者集合写真



なんとも愉快的な 令和5年 卒寮生送別会

令和5年2月25日(土)午後6時～

定刻の午後6時、卒寮生4名を除く参加者全員が席に着いた後、出席者の拍手に迎えられて、櫻井陽向君、北沢陽紀君、土本涼也君、風間大輝君の順に今日の主役が入場し上座に着いた。出席者は卒寮生4名の他、後輩寮生15名、理事4名に長谷川寮母さんの24名。

藤原改寮長の挨拶の後、理事長(福興)より祝辞と寮会講話を冊子にまとめた「講話集全8巻」が卒寮生4名に贈呈された。飯田から参加の池野理事による音頭で乾杯し会食・懇談となった。後輩寮生たちは入れ替わり立ち代わり卒寮生たちの席に行き料理や飲み物を給仕しながら寮生活の思い出を語りつつ別れを惜しんでいた。恒例の余興はトップバッターとして、1年生の永原拓実君がネクタイをバンダナ風に頭に巻いて登場。藤原改君のピアノ伴奏で沖縄の歌「しまんちゅう」を歌い出すと、1年生全員がネクタイを頭に巻いて一緒に踊り出し、その少し音階の外れた歌声と踊りに満場は大爆笑。次に、恒例となった五味零弥君のヒップホップダンスが披露されたが、いつも以上の熱演に全員が見惚れていた。続いて佐藤大地君が縫いぐるみ「ゲーフィー」を頭にかぶって登場。そのあまりの可愛さと踊りは、真面目でおとなしいイメージとのギャップの大きさに満場大喝采！特に長谷川寮母さんはお腹を抱えて笑い転げる始末。さらに佐藤君の踊りに合わせて1年生が踊り出したところへ永原拓実君と穂川輝多君がディズニーの蝶飾りを頭に掛けて飛び入り参加、面白おかしく踊り出すと笑いも最高潮となった。さらに、藤原君のピアノ伴奏で小山君が調子はずれ(わざとかな?)の歌を披露。

それを聴いて自信が湧いたのか(?)卒寮生の櫻井君が歌い出し、続いて北沢君、最後に余興には全く縁がないと思われていた風間君までが土本君とデュエットを歌い出す始末で、なんとも笑の絶えない愉快的な送別会となった。

余興の後、卒寮生一人ずつがマイクを握り、寮生活の思い出や長谷川さんへの感謝などの挨拶があり、在寮生から卒寮生への送別記念品の贈呈、卒寮生から在寮生への返礼記念品贈呈と続き、最後に全員で寮歌を合唱し、午後8時賑やかな送別会は閉会となった。(運営記録より)



卒寮生(風間、土本・北沢・櫻井)



卒寮生に給仕する後輩たち



楽しい余興の開始



笑い転げる先輩寮生たち



佐藤のゲーフィー君



珍妙に踊る永原・穂川コンビ



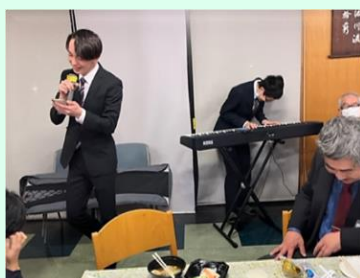
珍妙に踊る永原・穂川コンビ



愉快で芸達者な1年生



風間・土本コンビのデュエット



小山君の笑える美声披露



寮歌斉唱



記念写真

## 新評議員決定 ～ 評議員選定委員会開催し選任 ～

公益財団法人信陽舎の現評議員は令和5年6月開催予定の定時評議員会をもって任期満了となり改選されるが、新評議員の選任は評議員選定委員会によって行うという定款第13条の規定に基づき、下記5名の選定委員により、2月1日（水）午後2時より評議員選定委員会を開催、理事会より推薦された評議員候補者12名の審査が行われ、以下のとおり候補者12名全員が選任された。

今回の選任においては、若返りを図るため、井上潔さん（舎友No.173）、山口章裕さん（No.222）、青柳淳英さん（No.280）、吉村信二さん（No.309）の4名が新たに選任され、古島史雄さん（舎友No.47）、久保田光昭さん（No.58）、牧内良平さん（No.91）の3名の方々のご高齢のため本年（令和5年）6月の評議員会終結をもって退任されることになった。

新評議員の任期は、本年6月の定時評議員会終結より令和9年6月の定時評議員会終結までの4年間となる。

なお、評議員選定委員会の外部委員2名のうち、本島信様（弁護士）が令和4年9月にご逝去されたため、木村政之様（社団法人偽造医薬品等情報センター代表理事）に就任をお願いし快くお引き受けいただいた。  
(法人事務局報告)



評議員選定委員会(2023年2月1日)

### 【新評議員】（任期：令和5年6月～令和9年6月）

氏名	舎友No.	入寮年	氏名	舎友No.	入寮年
上松三治彦	108	1963	井上 潔	173	1968
片桐 勝臣	110	1963	五島 久揮	176	1968
福田 璋夫	116	1963	山口 章裕	222	1971
鈴木 昭夫	154	1966	青柳 淳英	280	1978
牧野 憲治	157	1966	吉村 信二	309	1982
浅沼 弘愛	172	1968	小林 隆	354	1989

### 【評議員選定委員会】（構成員：5名）

氏名	資格	現職
高柳 俊男	外部委員	法政大学教授
木村 政之	外部委員	社団法人代表理事
片桐 勝臣	評議員	信陽舎評議員
福田 璋夫	評議員	信陽舎評議員
坪木 崇	監事	信陽舎監事

## 第7回舎友会総会・懇親会の開催地 “長野市” に決定！

日時：2023年9月9日（土曜日）正午～16時 会場：ホテル・メトロポリタン長野

【特別企画】尺八と琴の演奏会：尺八都山流の最高位“竹琳軒大師範”仁科恵敏様（舎友・仁科圭右北信支部事務局長の父）による名演奏をお楽しみください。

長野の地で懐かしい仲間と再会し旧交を温めよう！

詳しい開催案内は5月中旬にお送りします。同期の舎友の皆さんを誘ってご参集ください。

### ☎ お便り大歓迎！ ☎

常時、舎友の皆さんの便りを募集しております。随時受付を行っていますので遠慮なく下記事務局までとどしお便りをお寄せ下さい。

### 《 会報「武蔵野」編集委員 》

福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)
深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)
原 誠(220)	仁科 圭右(306)
田中 淳一(470)	岩原 優(580)

### ☎ 舎友名簿に関するお願い ☎

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っていません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は、お手数ですが下記事務局までお問合せ下さい。

文中挿入の挿絵(版画・スケッチ)等の作画は福與卓臣

発行人：林 史典（会長）

事務局：福與卓臣（事務局長）

〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8

☎ (045) 902-2575 携帯☎ 090-9841-6349

E-mail : tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第12号 令和5年4月1日発行